



五・六月号
発行所
財団法人全日本仏教協会
東京都中央区築地
三ノ丁一丁目寺内
電話54031三
発行人 栗本俊道
編集者 高橋忠雄
印刷所 栄昌堂

張主 第六回全日本仏教徒会議 東京浅草寺大会に期待す

全日仏主催の才六回全日本仏教徒会議が開かれんとしている。こゝ浅草寺の会場には全国各地各宗からの代表約一千名が夫々真剣な気持ちで集い、これから三日間に亘つて和やかな内にも仏教信徒たるの自覚のもとに輝かしい言論戦と静かな研究発表をされることであらうと各方面から期待されている。

この会議が昭和廿八年全日仏の提唱によつてその才一回を春雨けぶ高野山金剛峯寺で開いてより早六回目、最初よりこの会議に参加された人々にとつては感慨深いものが多いことと思われる。最初の才一・二回目に於ては戦後混乱した仏教協会とも角僧俗男女を一堂に会して共に語り共に語るといふことがどんなものであるかを身をもつて知ることが才一であつた。その結果それまでは一面識もなかつた人々がこの会議に参加することによつて相互に十年の知己以上に親しくなり、その後信仰生活の上に、教化活動の面に文字通り親密な交友が今日までも続いているという佳話も屢々耳にするところである。然るに三回・四回と経るにつれ

て次才にその感激もすれ且討議される諸問題も、受けて立つ全日仏及び各宗当局者もいさゝか疲れて来た感があつた事は否めなかつた。殊に会議の在り方、内容に關して色々な研究と註文も行われ序々にではあるが内容外観共に次才に整備され進歩して来た事も亦事実である。尙この会議を年毎に会場を担当してくれた各本山当局の苦心と努力も参会者の感謝は勿論今後永く日本仏教史に残る功績であると信じている。

それにしても出席者の發言がともすると情熱の余り憤激となり自分の所属宗団又は団体へのうつつ憤を会場で一氣に叫ぶ結果仏教徒らしからぬ場面も皆無とは云えなかつた。且提案事項の実践は何もかも簡単に全日仏に一任とか全日仏で全国的に実行せよ、とか結論して事足りるとするよ々な場面も多かつた。勿論決力ではあるが全日仏では毎大会の決議の実践に關しては夫々特別委員会等を開いて充分討議研究の結果直に実行出来るものは之を実行し、各宗宗門当局に要請すべきものは夫々連絡要請して努めてその決議の忠実なる実践に努力はして来ているが種々な

る事情で必しも満足すべき程度ではなかつた。本大会に於ては特にこれらの点に關して代表各位も充分考慮して善処されん事を希望する才次である。本年は浅草寺当局の格別の配慮と支援のもとに始めて大都會の真只中で開く事が出来たわけである。之は吾々現代仏教徒の直面している諸問題が何れも実生活と密着している事実を思いを致し、この難値難遇の機会を充分活用して従来の会議の長をとり短を捨て、予め示された諸提案を繞り何卒真劍活潑なる論議を展開されんことを急願して止まない。殊に本年はN・H・K主催の放送討論会も初日行われる事になつてゐる。代表各位の叫びは直に電波にのつて全日本に響くわけである。代表各位の御健闘を祈ると共に本会議が全日本仏教徒会議の名にふさわしい充実さを内外に示されんことを重ねて要望するものである。(一)



写真は金竜山浅草寺

才六回全仏会議に！ 私はかく要望する！

愈々仏教徒会議の準備も着々進み議案の整理、議事運営の細部等も決定して来たので去る五月廿七日の午後全日仏組織、教学、社会平和の各委員四十数名の合同委員会を築地サボイで開いて意見を交換した。特に放送討論会対策、議事内容等に関しは仲々活潑な意見がとび出し流石一東京大会に對する各方面の期待の大きい事がわかつた。その内、特に従来の大会に比し「今年はいかありたい」という点に集点を左に別記した。

山田聖林氏(駒沢大学学監) 遅れて来て直ぐ意見を申し上げるのも申訳ないが、今度の大会を更に意義あらしめる為には色々あると思ふが仏教界との連絡をもつと緊密にして多くの學者の出席を得よう。大会日程の一段の努力を願ひたい。行つて居る事業報告なり研究発表でも行えるならば尚幸いでありませう。盛会をお祈り致します。

小松雄道氏(日大教授・文部) 毎年同じような理想論の討議でなしに去年私が提案した例えは「全日仏の財政確立をどうするか」というような具体的な問題を提案するよう努力したらどうか。予算でなしに堂々たるほんとうの財団法人全日仏をつくらう。東、西、曹洞等の大宗門がもつと金を出して事実上の後援を大会で示せば各方面からどん／＼浄財は集つてくるよ。

赤松常子氏(参議院議員、全日仏婦理事) 大会で全日仏の財政白書を先づ発表して頂きたい。そうすれば自ら全国仏教徒の理解と援助が集るだらう。今迄のように理事会や評議員会だけで議せばよいのだ等と云う小乗的の見解では全日仏の発展は期せられないと思ふ。

遠山隆一氏(詠歌連盟理事) 討論会に關して一言するならば仏教者にも積極的の發言すべきで何等遠慮するところは無い。必しも名を云ふ必要はない。その銘題によつて自分の意見を卒直に簡明に述べ、事之大意を卒に反對意見に對しても謙虚に耳を傾け、反省すべきは反省し、反論すべきは堂々と反論しようではないか。

今年のは是非年間事業報告と共に財政白書の発表を期待していただきます。 狩野雅麟師(教学教化委員改行同志クラブ)

全仏実

総務局

昨年九月開催された、才五回全日本仏教徒会議東大寺大会において...

堅牢かつ強固なる財政基礎に立脚してはじめて本会の健全活潑なる活動も可能なのであつて...

この案件も本会運営上まことに重要な点であつて、専門委員会の充実と活動によつて、衆智を結集し、運動の拡大充実をはかつてゆくべき性格のものであつて、寄

実践報告

附行才三十一号に専門委員の件については明示してある。従つて現在専門委員会は次の通り設置されて居り、その開会毎に御尽力を願つて居る。

以上を通り前大会において決定された諸議案の実施については着々、その最善を尽くして居る。...

この組織、国際局の活動を一層活潑にして、その期待にこたへてゆく

組織局

このため、この組織局の設置は、各地方に於いて、その活動を一層活潑にして、その期待にこたへてゆく

一、道徳教育に関する基本方針の策定、二、全国都道府県仏教会の加盟促進運動、三、全国都道府県仏教会の加盟促進運動

この組織、国際局の活動を一層活潑にして、その期待にこたへてゆく

国際局

この組織、国際局の活動を一層活潑にして、その期待にこたへてゆく

この組織、国際局の活動を一層活潑にして、その期待にこたへてゆく

この組織、国際局の活動を一層活潑にして、その期待にこたへてゆく

国際局

この組織、国際局の活動を一層活潑にして、その期待にこたへてゆく

この組織、国際局の活動を一層活潑にして、その期待にこたへてゆく

この組織、国際局の活動を一層活潑にして、その期待にこたへてゆく

ブラジル日本移民 五十年祭祝典へ 仏教代表大谷光紹師派遣

南米ブラジル国は海外移住地として最も長く一般的に知られているが、来る六月十八日より約三ヶ月の予定で同国サンパウロ市イビラプエーラ公園に於て日本移民五十年祭祝典が五十年祭委員会主催の下盛大に開催される事になり、日本各界からも多数代表が招かれているが、現地にては着々と開教の実を挙げている。仏教界からも是非代表を派遣してほしい旨の文書が、日本移民五十年祭委員会会長山本喜吾司氏より寄せられたので全仏では種々協議の結果大谷派新門主大谷光紹師、と随行全日仏理事長重永潜師(浅草輪番)の両師を派遣する事に決定し取急ぎ山本会長あて通告した。大谷、重永両代表は来る六月八日空路ブラジル向け出発することにまつている。なほ昨年末以来同祝典について種々の打合せの為来日中であつたブラジル仏教徒協議会主幹の辻本昇氏は打合せを終え四月九日夜十一時羽田発のPA機で帰途についた。(写真説明) 右(大谷光紹師) 左(重永潜師)



大谷光紹師、と随行全日仏理事長重永潜師(浅草輪番)の両師を派遣する事に決定し取急ぎ山本会長あて通告した。



大谷光紹師、と随行全日仏理事長重永潜師(浅草輪番)の両師を派遣する事に決定し取急ぎ山本会長あて通告した。

在華邦人遺骨引取促進 委員会生る

終戦後数次に互る日本民間団体の「中国俘虜殉難者の遺骨送還」の人道の誠意に応え、中国紅十字会では先頃より我が同胞の遺骨調査を中国全土に行い且その送還を

約束してくれた。今回四月廿四日舞鶴入港の白山丸で二千数百柱の遺骨を送還して来たので、之に刺激された我が国各種団体は先般來之が対策に付協議中であつたが今回「在華邦人遺骨引取促進委員会」を結成して今后恒久的に之が世話をする事になり目下準備中である。

全日仏でもその主旨に賛同し準備中である。

重永新理事長就任

先づ全日仏の財政を確立しよう

全日仏の理事長渡辺真海師(浄土宗々務総長)は去る三月末日をもつて同宗々務総長を満期退職された事を理由としてかねてより辞表を提出していたが四月末の理事会に於て正式討議の結果之を受理することとし後任理事長選定をやつた。その結果満場一致で重永潜師(浅草本願寺輪番)を理事長として推薦し同師又直ちに快諾されて挨拶をされたので茲に正式に三代目の全日仏理事長の重責を荷するに至つた。尚師は就任にあたりその抱負を左の通り語つた。

「今回因らざる私が全日仏の理事長として御推挙を頂きました事は誠に身に余る光栄と存じて居ります。身辺多忙を極めて居りますが全日仏の重要性に鑑み全力を傾けてこの重責に応えたいと存じます。」

備団体の一員として参加し取敢ず今回送還の二千余柱の遺骨の大慰霊行事に付て出来得る限りの誠意を表すべく具体的方法に付て協議中である。

尚委員会では委員会規約を設定し特に左の行事を行うとしてい

- 一、日本国内に於て現地資料の募集作成
- 二、遺骨引取問題の世論高揚
- 三、中国政府に対し資料の送付依頼
- 四、邦人遺骨の引取並びに慰霊祭
- 五、その他

私としては先づ全日仏の財政確立に力を注ぎたいと思う。従来仲々良い企画や考えがあつたのですが何れも資金難のため思うに任せず中途で終つてしまつている。加盟各宗門、団体の御協力を煩す事は勿論であるが、今後は更に別の方面にも財源を探して努力して見たいと思つている。

全日仏の存在価値は年と共に高く評価されて来ています。然し会自体の信用を一層高め更に活発な活動を行う為にはこの点に特に努力し全国仏教徒の頼もしい相談相手になつてゆきたいと思ひます。

今后共旧来に倍して加盟各宗門府県仏教会その他の団体の皆様の御協力と御支援とを賜りたいと思ひます。」

日伯親善の絵画作品

続々と集まる

今回の重永理事長の渡伯に際し日本とブラジル両国小国民の親睦を深めるため日本の学生の絵画作品を寄贈する事にし各学校へ働きかけていた所左記各校から続々と作品がもち込まれ事に局では之が整理に大重である。この作品は八日出発の際航空機によつてブラジルに運ばれ、直に関係各方面へ配布される事になつている。

記

- ◇世田谷中学 ◇むさし野女子学院
- ◇中学 ◇淑徳学園 ◇東京立正高校
- ◇立正学園女子高校 ◇上野学園 ◇函館大谷高校(北海道) ◇尾張高校(名古屋)
- ◇文華女子高校 ◇東北福祉短期大学附属高校 ◇芝中学
- ◇光華女子学園 ◇千代田女子学園

大法輪旗ひるがえる

名古屋鈴木師の発願で

名古屋在住の篤信家鈴木錦吾師(前ネパール仏教使会議出席者)は前大会東大寺会場に大法旗を掲げて話題を投げかけたが今回又も独特の教化手腕を発揮しタテ五間ヨコ七間の大法輪旗を本大会々場にももち込んで関係者をアツと云わせた。

この大法輪旗は師が「コッ／＼と托鉢した淨財と高木孝一氏(名古屋鉄工所社長)の寄進せる淨財とによつて完成したもので大会参加者の話題をさらつている。

尚師に本大会を記念して昨年掲げた大会旗は全日仏本部へ寄進をされ、関係者を感じさせている。

※前頁より

才六条 本協議会の会長は全日本仏教会会長がこれにあたる。

才七条 本協議会に会務を執行する幹事若干名をおく。

①幹事は全日仏教回国際局及び本協議会構成の各団体より二名あて推薦したる者とし、その内若干名を常任幹事とする。

②幹事の任期は二ヶ年とし再任を妨げない。

才八条 本協議会の経費は構成団体分担金を以つてあてる。

才九条 本協議会の規程は構成員の三分の二以上の発議によつて改変することが出来る。

附則
本規程は昭和三十三年四月廿五日から施行する。

編集後記

▼愈々才六回大会が開かれる、前大会から僅か半年であるだけに準備に交渉に仲々大変だつた。▼幸に東京であるだけに万事連絡に便利であり各方面の予想以上の熱心な協力と支持が得られた事が有難かつた。▼来るべきアジャ文化会議、才五回世界仏教使会議に備えて本大会の意義が愈々重大となるわけ。▼参加各代表及びお手伝ひの皆さんの御健闘と協力を訴ることに切……(た)